

外国語能力試験による 単位認定について

<外国語能力試験による単位認定申請を希望するみなさんへ>

履修要項 (本資料11ページの後に掲載)

をこの資料と照らし合わせてよく読んでください。

外国語能力試験による
単位認定を申請するには
右のスコア*いずれかを
申請時点で満たしている
必要があります。

* 履修要項「別表」参照

申請を希望する人は、**合格証書**
やスコアの写しを用意しておい
てください。

所属する学科や言語によっては
Q3開始前あるいは2年次開始前に
申請できる場合もあります。
(認定される基準に注意)

毎年3月と7月、
教務課のWebページに
申請の案内を掲載しています。
履修要項と合わせて自分で確認し
適切な時期に申請をしてください。

外国語名称	対象となる外国語能力試験	認定基準	
		基準 A	基準 B
英語 (外国語学部 英米学科以外 の学生) *1	TOEFL iBT	(総合)80~99	(総合)100 以上
	IELTS	(総合)6.0~6.5	(総合)7.0 以上
	実用英語技能検定(英検)	準1級	1級
	Cambridge English (ケンブリッジ大学英語検定試験)	FCE	CAE 以上
	TOEIC	(総合)850~949	(総合)950 以上
英語 (外国語学部 英米学科の 学生) *1	TOEFL iBT	(総合)100 以上	
	IELTS	(総合)7.0 以上	
	実用英語技能検定(英検)	1級	
	Cambridge English (ケンブリッジ大学英語検定試験)	CAE 以上	
	TOEIC	(総合)950 以上	
フランス語	実用フランス語技能検定試験(仏検)	3級	準2級以上
	DELTA, DELF ジュニア	A2	B1 以上
	DALF		C1 以上
	TCF	A2	B1 以上
ドイツ語	Goethe-Zertifikat(ゲーテ・ドイツ語検定試験)	A2	B1 以上
	ÖSD(オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験)	A2	B1 以上
	telc Deutsch	A2	B1 以上
	TestDaF		TDN3 以上
	DSH		DSH1 以上
スペイン語	スペイン語技能検定(西検)	4級	3級以上
	DELE(スペイン語認定証)	A2	B1 以上
ポルトガル語	CELPE-Bras (外国人のためのポルトガル語検定試験)	中級以上	
中国語	中国語検定試験(中検)	3級	2級以上
	HSK(漢語水平考試)	4級 *2	5級以上 *2
	TOCFL(華語文能力測驗)	基礎級(A2)	進階級(B1)以上
韓国朝鮮語	「ハングル」能力検定試験(ハン検)	3級	準2級以上
	TOPIK(韓国語能力試験)	3級	4級以上

*1 英語については、申請締切日から遡って2年以内に受験した試験のスコア等を有効とする。

*2 HSK については、合計スコアが180点以上であること。

(注)

団体向け試験 (TOEFL ITP、TOEIC IP など) のスコア等に基づく単位認定はしない。

1. 外国語能力試験による 単位認定とは？



共通教育外国語の必修または選択必修科目の
単位が、基準に応じて認定される制度

- ★履修要項 第5項(認定単位数) をよく読んでください。
所属する学部・学科や言語によって、認定される単位数などが
異なります。

認定基準の例1

日本文化学科の学生が実用英語技能検定
(英検)準1級を持っている場合

1) 履修要項「別表」を見る

→「英語(外国語学部英米学科以外の学生)」
「基準A」

→欄外の注「*1」をクリアしているか確認

2) (1)を満たしている場合)

第5項(認定単位数)を見る →「①」より

必修外国語科目の英語科目4単位を認定

認定基準の例2

日本文化学科の学生が実用英語技能検定
(英検)1級を持っている場合

1) 履修要項「別表」を見る

→「英語(外国語学部英米学科以外の学生)」
「基準B」

→欄外の注「*1」をクリアしているか確認

2) (1)を満たしている場合)

第5項(認定単位数)を見る →「②」より

必修外国語科目の英語科目4単位

選択必修外国語科目の英語科目4単位

合計8単位を認定

<注意>

- ・申請しようとしている言語が認定対象か
- ・この認定で卒業に必要な単位が満たされるか



所属学科の履修要項

「必修外国語・選択必修外国語」の
科目名・必要最低単位数を確認

2. 英語の場合

包括認定(単位数を認定)

認定基準を満たす単位は認定されるが、履修登録された英語科目は取り消されない。

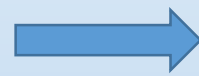


Q1～Q4まで、登録された英語科目は全て履修すること。

- ★英語科目の修得後、必要最低単位数を超えた単位は、卒業に必要な「自由選択科目」の単位となる。
- ★修得した英語の成績はGPA(=成績評価の平均値)に算入される。

3. 初習外国語（英語以外）の場合

A) 外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科のスペイン語、
フランス学科のフランス語、ドイツ学科のドイツ語、
アジア学科の中国語



所属学科の教員に指導を受けて申請
([申請用紙を持参して](#)学科ガイダンスの際に申し出る)

Aの学生はその他の初習外国語科目の認定は申請できません。

B) A以外の学生

個別認定(特定の科目に読み替えて単位を認定する)

認定された科目の履修は不要*(詳細は次ページ)

★その時限は他の科目の履修に充てられる。

★成績は「T」となり、GPAに算入されない。

認定された科目の履修は不要 (8ページ) について

選択必修外国語の言語は入学時の語学抽選※により決定します。

単位認定された言語と語学抽選により登録された言語が…

(1) 同じ場合

Q1: 単位が認定されて履修登録が取り消されるまで
外国語科目を受講する。

登録変更期間を過ぎるため、新たに他の科目は登録できない。

Q2～Q4: 外国語科目は登録取消となるため、その時限に他の科目を
登録できる。

(2) 異なる場合

A) 国際教養学科生⇒履修不要。

履修する場合は卒業に必要な単位ではない「自由科目」となる。

B) A以外の学生⇒Q1～Q4: 登録された外国語科目を要履修。

外国語科目の修得後、必要最低単位数を超えた単位は
卒業に必要な「自由選択科目」の単位となる。

※理工学部: 語学抽選なし。

申請した科目で単位認定されれば履修は不要。

概要

	英 語	初習外国語(英語以外の言語)	
		A)外国語学部 (英米学科以外)	B)その他
認定方法	包括認定	学科教員の 指導による	個別認定
授業の 登録・受講	登録された 英語科目を 全て受講	同上	認定された 外国語科目は Q1中に取消【注】
申請書 記入例	①	② ガイダンスに 申請用紙を持参する	③

【注】認定科目の言語と抽選により登録された言語が異なる場合は要履修*

*国際教養学科生は9ページ(2)ーA)参照

外国語能力試験による単位認定制度について

1. 外国語の能力を判定するために実施されている各種外国語能力試験で一定の基準に達した学生が、所定の手続きを行った場合に、以下のとおり単位を認定する。

(認定の対象となる科目とその区分)

2. 認定の対象は、当該学生の所属学科が定める必修および選択必修の共通教育外国語科目のうち、第1項の外国語能力試験が対象とする言語の科目である。ただし、国際教養学科生の場合は、必修の外国語科目は認定の対象としない。
3. 第2項の科目のうち、科目名称にⅠ～Ⅳを含むものを区分1の科目、Ⅴ～Ⅷを含むものを区分2の科目とする。

(認定基準)

4. 第1項の「一定の基準」には、2種類（基準Aと基準B）がある。詳細を次ページの別表に示す。

(認定単位数)

5. 第1項の「認定単位数」の上限は、第3項の基準の種類とその基準に達した時期に応じて、以下のとおり定める。
 - ①入学時まで基準Aに達した場合、区分1の科目の単位として言語ごとに4単位まで認める。
 - ②入学時まで基準Bに達した場合、区分1または区分2の科目の単位として言語ごとに8単位まで認める。
 - ③入学2年目開始時まで基準Bに達した場合、区分2の科目の単位として言語ごとに4単位まで認める。
 - ④①～③で認められる単位数の合計は、学科・言語ごとに、次表に示す単位を超えないものとする。

学科	英語	英語以外の各言語
人文学部の各学科、外国語学部の各学科(英米学科以外)	8単位	8単位
外国語学部英米学科	4単位	8単位
経済学科、経営学科、法律学科、総合政策学科	8単位	4単位
理工学部の各学科	10単位	2単位
国際教養学科	—	4単位

ただし、学部・学科・言語によって、基準に達した時期・区分・単位数を次のように読み替える。

(1) 外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科のスペイン語、外国語学部フランス学科のフランス語、外国語学部ドイツ学科のドイツ語：

③入学2年目開始時→入学年度の第3クォーター開始時

(2) 外国語学部アジア学科の中国語：

①4単位→2単位

②区分1または区分2の科目の単位として言語ごとに8単位→区分1の科目の単位として4単位

③全文→入学年度の第3クォーター開始時まで基準Bに達した場合、区分1の科目の単位として2単位まで認める。

(3) 経営学部の英語、総合政策学部の英語：

③全文→入学年度の第3クォーター開始時まで基準Bに達した場合、区分1の科目の単位として4単位まで認める。

(4) 理工学部の英語：

①4単位→6単位

②8単位→10単位

なお、この項は、編転入学者に対しても適用する。

(申請手続き)

6. 認定を希望する学生の申請手続きは、以下のとおりとする。

①第1クォーター授業開始日まで（開始日を含む）に、申請書に当該外国語能力試験の得点（合格）証明書コピーを添えて、教務課に提出すること。ただし、第5項の「基準に達した時期」が「各年度の第3クォーター開始時まで」となる認定を申請する場合（9月入学者を含む）は、第3クォーター授業開始日まで（開始日を含む）に申請すること。なお、学年または学期の途中、あるいは学年または学期を遡っての単位認定は行わない。

②外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科のスペイン語、外国語学部フランス学科のフランス語、外国語学部ドイツ学科のドイツ語、外国語学部アジア学科の中国語の認定を希望する学生は、所定の期間内に所属学科の担当教員の指導を受けること。

別表

外国語名称	対象となる外国語能力試験	認定基準	
		基準 A	基準 B
英語 (外国語学部 英米学科以外 の学生) *1	TOEFL iBT	(総合) 80~99	(総合) 100以上
	IELTS	(総合) 6.0~6.5	(総合) 7.0以上
	実用英語技能検定 (英検)	準 1 級	1 級
	Cambridge English (ケンブリッジ大学英語検定試験)	FCE	CAE 以上
	TOEIC	(総合) 850~949	(総合) 950以上
英語 (外国語学部 英米学科の 学生) *1	TOEFL iBT	(総合) 100以上	
	IELTS	(総合) 7.0以上	
	実用英語技能検定 (英検)	1 級	
	Cambridge English (ケンブリッジ大学英語検定試験)	CAE 以上	
	TOEIC	(総合) 950以上	
フランス語	実用フランス語技能検定試験 (仏検)	3 級	準 2 級以上
	DELF、DELF ジュニア	A 2	B 1 以上
	DALF		C 1 以上
	TCF	A 2	B 1 以上
ドイツ語	Goethe-Zertifikat (ゲーテ・ドイツ語検定試験)	A 2	B 1 以上
	ÖSD (オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験)	A 2	B 1 以上
	telc Deutsch	A 2	B 1 以上
	TestDaF		TDN 3 以上
	DSH		DSH 1 以上
スペイン語	スペイン語技能検定 (西検)	4 級	3 級以上
	DELE (スペイン語認定証)	A 2	B 1 以上
ポルトガル語	CELPE-Bras (外国人のためのポルトガル語検定試験)	中級以上	
中国語	中国語検定試験 (中検)	3 級	2 級以上
	HSK (漢語水平考試)	4 級*2	5 級以上*2
	TOCFL (華語文能力測驗)	基礎級 (A 2)	進階級 (B 1) 以上
韓国朝鮮語	「ハングル」能力検定試験 (ハン検)	3 級	準 2 級以上
	TOPIK (韓国語能力試験)	3 級	4 級以上

* 1 英語については、申請締切日から遡って 2 年以内に受験した試験のスコア等を有効とする。

* 2 HSK については、合計スコアが 180 点以上であること。

(注) 団体向け試験 (TOEFL ITP、TOEIC IP など) のスコア等に基づく単位認定はしない。

「外国語能力試験による単位認定願」申請書の記入・提出方法

1. はじめに

- ・申請書は各自で教務課 web ページからダウンロードし、言語ごとに1枚ずつ作成する。
(例：英語と中国語を申請する場合は2枚作成)
- ・年月日は、自身が教務課へ提出する日の年月日を記入。
- ・A欄：学部・学科からemailまで、自身の情報を記入。
- ・B欄：取得済みの外国語能力試験の情報を記入。本学での単位認定経験は、「英語」と「英語以外の各言語」の両方を申請する場合、「あり」に○をつける。

2. C欄 記入方法

記入例①：英語の場合

- ・履修要項本文「認定単位数」と別表「認定基準(A・B)」を参照して単位数を記入。
例1：日本文化学科の学生が英検準1級を持っている場合、基準A → 単位数4
【包括認定】欄の「必修外国語」に☑、言語「英語」、単位数「4」
例2：日本文化学科の学生が英検1級を持っている場合、基準B → 単位数8
【包括認定】欄の「必修外国語」「選択必修外国語」どちらも☑、各々「英語」、単位数「4」
- ・下段太枠の「申請単位数 合計」を記入(例1:4、例2:8)。
- ※ まず「必修外国語」の単位を申請し、それを超える場合は「選択必修外国語」を申請
- ※ 単位数は、一部のみ申請することはできません(4単位のうち2単位のみ等は不可)

記入例②：英語以外の各言語の場合 1 (外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科のスペイン語、フランス学科のフランス語、ドイツ学科のドイツ語、アジア学科の中国語)

- ・【包括認定】欄と【個別認定】欄のいずれも、記入不要。
- ・申請書と「外国語能力試験の得点(合格)証明書コピー」を、学科ガイダンスなどの場で学科の担当教員へ手渡し、教員の指導を受け、教員に必要事項を記入してもらう。

記入例③：英語以外の各言語の場合 2 (上記②以外の学生)

- ・次ページ本文「認定単位数」と別表「認定基準(A・B)」を参照して単位数を確認。
(例：経営学科の学生が中検3級を持っている場合、基準A → 単位数4
英米学科の学生が中検2級を持っている場合、基準B → 単位数8)
- ・【個別認定】欄の科目名に、各言語の科目名を記入(下記枠内参照)。
単位数は、1科目ごとに1と記入。
授業コードは記入不要。

科目名一覧

フランス語	I・II・III・IV・V・VI・VII・VIII
ドイツ語	I・II・III・IV・V・VI・VII・VIII
スペイン語	I・II・III・IV・V・VI・VII・VIII
ポルトガル語	I・II・III・IV
中国語	I・II・III・IV・V・VI・VII・VIII
韓国朝鮮語	I・II・III・IV・V・VI・VII・VIII

- ・下段太枠の「申請単位数 合計」を記入(確認した認定単位数と合致させる)。

3. 提出方法

- ・1,2に従って記入した申請書と「外国語能力試験の得点(合格)証明書」を第1クォーター授業開始日(開始日を含む)17時まで(厳守)に教務課へ提出

記入例①：英語の場合

●●●●年 ●月 ●日

南山大学長 殿

外国語能力試験による単位認定願

A 欄

「英語」と「英語以外の各言語」の両方の単位認定を申請する場合、「あり」に○をつける。

●● 学部 ●● 学科

学生番号 ●●●●●● 氏名 ●●●●●●

携帯電話番号 ●●●-●●●●●-●●●●●●

e-mail ●●●●●@●●●●●●●●●●

共通教育科目の外国語科目について、以下の通り、単位を認定していただきたくお願いいたします。

認定対象の 外国語能力試験	●●●●●●●●	成績	●級
取得年月日	●●●●年 ●月 ●日	本学での単位認定経験*	あり・なし

*この他に、現在、単位認定申請中のものがある場合にも「あり」としてください。

B 欄

----- 単位認定を申請する科目について不明な場合は、教務課へ確認してください。 -----

【包括認定】

該当する科目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。	言語	単位数
<input checked="" type="checkbox"/> 必修外国語	英 語	4
<input type="checkbox"/> 選択必修外国語	語	

【個別認定】

授業コード	単位数
-	
-	
-	
-	
-	
-	
-	
-	
-	

必修外国語の必要単位数を超えて申請する場合には、選択必修外国語にもを入れ、言語名と単位数を記載する。

C 欄

申請単位数 合計	4
----------	---

----- 以下にあたる場合には、各学科の担当教員による指導を受けた上で、申請してください。 -----

<ul style="list-style-type: none"> ▶ スペイン・ラテンアメリカ学科の学生が、スペイン語の単位認定を申請する場合 ▶ フランス学科の学生が、フランス語の単位認定を申請する場合 ▶ ドイツ学科の学生が、ドイツ語の単位認定を申請する場合 ▶ アジア学科の学生が、中国語の単位認定を申請する場合 			
学科による 指導実施日	年 月 日	指導担当者署名 (Interviewer's signature)	

申請内容に誤りの無いことを確認しました。

年 月 日 学科長 印

教務担当受付

記入例②：英語以外の各言語の場合 1

●●●●年 ●月 ●日

南山大学長 殿

A欄・B欄のみ記入して学科ガイダンスに持参すること

外国語能力試験による単位認定願

A欄

「英語」と「英語以外の各言語」の両方の単位認定を申請する場合、「あり」に○をつける。

外国語 学部 ●● 学科 ●●

学生番号 ●●●●●● 氏名 ●●●●●●

携帯電話番号 ●●●●-●●●●-●●●●●●

e-mail ●●●●●@●●●●●●●●●●

共通教育科目の外国語科目について、以下の通り、単位を認定していただきたくお願いいたします。

認定対象の 外国語能力試験	●●●●●●●●	成績	●級
取得年月日	●●●●年 ●月 ●日	本学での単位認定経験*	あり・なし

*この他に、現在、単位認定申請中のものがある場合にも「あり」としてください。

B欄

----- 単位認定を申請する科目について不明な場合は、教務課へ確認してください。 -----

【包括認定】

該当する科目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。	言語	単位数
<input type="checkbox"/> 必修外国語	語	
<input type="checkbox"/> 選択必修外国語	語	

【個別認定】

認定科目		
授業コード	科目名	単位数
—		
—		
—		
—		
—		
—		
—		
—		
—		

C欄：何も記入しないでください

申請単位数 合計

----- 以下にあたる場合には、各学科の担当教員による指導を受けた上で、申請してください。 -----

- ▶ スペイン・ラテンアメリカ学科の学生が、スペイン語の単位認定を申請する場合
- ▶ フランス学科の学生が、フランス語の単位認定を申請する場合
- ▶ ドイツ学科の学生が、ドイツ語の単位認定を申請する場合
- ▶ アジア学科の学生が、中国語の単位認定を申請する場合

学科による 指導実施日	年 月 日	指導担当者署名 (Interviewer's signature)
----------------	-------	--------------------------------------

申請内容に誤りの無いことを確認しました。

年 月 日 学科長 印

教務担当受付

記入例③：英語以外の各言語の場合 2

●●●●年 ●月 ●日

南山大学長 殿

外国語能力試験による単位認定願

A 欄

「英語」と「英語以外の各言語」の両方の単位認定を申請する場合、「あり」に○をつける。

●● 学部 ●● 学科

学生番号 ●●●●●● 氏名 ●●●●●●

携帯電話番号 ●●●-●●●●●-●●●●●●

e-mail ●●●●●@●●●●●●●●●●

共通教育科目の外国語科目について、以下の通り、単位を認定していただきたくお願いいたします。

認定対象の 外国語能力試験	●●●●●●●●	成績	●級
取得年月日	●●●●年 ●月 ●日	本学での単位認定経験*	あり・なし

*この他に、現在、単位認定申請中のものがある場合にも「あり」としてください。

B 欄

----- 単位認定を申請する科目について不明な場合は、教務課へ確認してください。 -----

【包括認定】

該当する科目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。	言語	単位数
<input type="checkbox"/> 必修外国語	語	
<input type="checkbox"/> 選択必修外国語	語	

【個別認定】

認定科目		
授業コード	科目名	単位数
-	●●語 I	1
-	●●語 II	1
-	●●語 III	1
-	●●語 IV	1
-		
-		
-		
-		

C 欄

申請単位数 合計	4
----------	---

----- 以下にあたる場合には、各学科の担当教員による指導を受けた上で、申請してください。 -----

<ul style="list-style-type: none"> ▶ スペイン・ラテンアメリカ学科の学生が、スペイン語の単位認定を申請する場合 ▶ フランス学科の学生が、フランス語の単位認定を申請する場合 ▶ ドイツ学科の学生が、ドイツ語の単位認定を申請する場合 ▶ アジア学科の学生が、中国語の単位認定を申請する場合 			
学科による 指導実施日	年 月 日	指導担当者署名 (Interviewer's signature)	

申請内容に誤りの無いことを確認しました。

年 月 日 学科長 印

教務担当受付
